



萌 木

～自尊・立志・感動～

9 月 号



調布市立第七中学校

校 長 山 田 勝

令和 7 年 9 月 2 6 日 発行

仲間との関係を自分の力とする力

校長 山田 勝

2 学期が始まり 4 週間。生徒一人一人それぞれが自分の頑張りたいを持ち寄り、学校生活が再開しています。始業式のころは猛暑日続きで熱中症警戒アラートの発令が当たり前の日々でした。少し涼しくなってきたところ、今度は天候の急変で、雷ナウキャストを頼る日の出現。ようやく天候も安定し、中間考査を迎えるところです。

天候に不安要素を抱えた 9 月初旬中旬でしたが、どの学年も大きな行事に取り組み、大きな成果を上げました。

はしうち教室の移動教室では、仲間との絆を実感してハヶ岳で充実した活動に取り組みました。

1 年生は調布調べで班ごとに決めた市内 24 か所の事業者様を訪問し、働くということと地域で実践されている SDGs の取り組みを調べてきました。2 年生は地域の事業所様のお世話になり職場体験に取り組みました。どちらも働く環境の中でどのようにして仕事に取り組むのか、実際に作業をさせていただいたり働いている方の話をお聞くなど、指示を聞いて体験することで学びが完成しました。

自分の気持ちだけですべてを進めていくわけにはいかない制約のある中で、どのように調整し、また、仲間と共有しながら取り組む経験が自分の成長につながる力を大きく育てる力につながります。そのことも意識することができた機会だったのではないのでしょうか。

3 年生も 10 月の修学旅行への取り組みを進めています。そのことを踏まえながら、2 学期の始業式では次のように話しました。

【前略】この場に共に学ぶクラスや学年、七中の仲間が集まっています。

共に学ぶ仲間と 1 学期の行事などの時に感じた絆を思い出してください。苦手なことや億劫になってしまうことにも、共に頑張る仲間がいれば、自分も頑張ろうと思うきっかけとなります。自分を励ます仲間の存在、仲間を励ますことができる自分。その力を何回も実感してきた関係を思い出してください。頑張る気持ちを整えることができますか。

そのクラスや学年、七中の仲間とともに 2 学期も色々なことに挑戦し、多くのことを学びましょう。

1 学期の終業式では、知識を結び付けて考えることを意識することで、「論理的に考える力」を鍛えることに挑戦してほしい、というお話をしました。学習してきたノートやプリントを見直すとき、何ページか前のあのところと同じ考えだ、などと結びつけられるようになると、考えることが楽しくなります。そして、考える力がつく。夏休みの間に取り組めた人もそうでない人も、2 学期の学習では知識を結びつけることに挑戦してください。

自分が成長することで、周りのみんなも刺激を受け成長する。周りの成長を感じ、自分も自分の力を伸ばすことを意識しさらに成長する。

こんなに楽しく、素晴らしいことはありません。

ともにいる仲間の成長は自分の成長に大きな力を与えてくれます。仲間とともにいるからこそできること、そのことから得られることを大切にしながら、自分の目標目指して進みましょう。

仲間がいる、自分がいる。そのことを大事にすること、共に学ぶ場である学校の一番大きな力となることです。自信をもってこの場での学びを進めてください。